

編集後記

学術情報処理研究 20号をお届けいたします。本誌は、大学の情報系センターの業務に関連した研究・開発の成果を発表し、情報共有する非常に重要な媒体です。大学情報系センターの役割は、非常に多様化しています。しかし、基盤的ネットワークの維持やセキュリティ対策、教育用端末運用や e-learning システム運用など共通する部分もあります。こうした大学のシステム構築や運用保守、課題発見と解決のためには、他センターの方法や知見を知ることは非常に有意義です。特に、大学は構成員と利用方法が非常に多様であり、システムを提供するベンダーの想定とは大きく異なります。そのような環境で情報システムを構築し運用保守するためには、独自の方法や工夫が必要です。本誌は、このような方法や知見を学術論文として発表できる数少ない場として機能しています。

これまで、本誌は持ち回りの開催校を中心に査読と編集を担当してきました。しかし、情報系センター教職員の業績として本誌の論文を位置付けるためには、論文の質の向上とそれを裏付ける査読体制が必要です。そこでこの号から常設の編集委員会を置き、すべての原著論文に所属の異なる2名の査読者を充てる体制にしました。これは一般的な学術誌と同等の体制です。手探り状態でのスタートとなりましたが、編集委員と査読者の皆様のご尽力のおかげで一定の質の確保ができたと考えています。

本誌の質の確保のもう一つの課題は開かれた学術誌にすることです。この号においても、情報系センター所属の教員以外の著者による論文がありました。また、編集委員や査読者の中にも情報系センター所属の教員以外の方に参加頂きました。公立大学や私立大学の情報系センター教員の方々からの投稿がいただける方法について、今後検討を進めていきたいと思っております。

学術情報処理研究
編集委員長 只木 進一

学術情報処理研究 編集委員会

委員長 只木 進一 (佐賀大学)
副委員長 全 炳東 (千葉大学)
委員 上田 哲史 (徳島大学) 笠原 禎也 (金沢大学) 杉浦 徳宏 (三重大学)
不破 泰 (信州大学) 渡辺 健次 (広島大学)

査読委員 (50音順)

相原 玲二 (広島大学)	伊藤 智博 (山形大学)	今泉 貴史 (千葉大学)
大谷 誠 (佐賀大学)	大平 健司 (徳島大学)	甲斐 博 (愛媛大学)
河野 圭太 (岡山大学)	北口 善明 (金沢大学)	近堂 徹 (広島大学)
櫻田 武嗣 (東京農工大学)	佐藤 聡 (筑波大学)	佐野 雅彦 (徳島大学)
下園 幸一 (鹿児島大学)	末長 光弘 (国立情報学研究所)	田島 浩一 (広島大学)
辻澤 隆彦 (東京農工大学)	土屋 英亮 (電気通信大学)	永井 孝幸 (京都工芸繊維大学)
中川 雅央 (滋賀大学)	中野 裕司 (熊本大学)	中村 豊 (九州工業大学)
西村 浩二 (広島大学)	林 敏浩 (香川大学)	久長 穰 (山口大学)
堀 良彰 (佐賀大学)	梶田 秀夫 (京都工芸繊維大学)	升屋 正人 (鹿児島大学)
松浦 健二 (徳島大学)	松平 拓也 (金沢大学)	美濃 英俊 (山梨大学)
森 祥寛 (金沢大学)	八重樫理人 (香川大学)	山井 成良 (東京農工大学)
山地 一禎 (国立情報学研究所)		